

【技術の名称】 絆ジョイント工法 ー小口径鋼管を用いた杭状地盤補強材の機械式継手ー	性能証明番号：GBRC 性能証明 第24-18号 性能証明発効日：2024年12月9日
	【取得者】 誠信 GLOCAL 株式会社 HS 株式会社

【技術の概要】

本技術は、地盤補強工法として使用する小口径鋼管を用いた杭状地盤補強材（以下、“補強材”と称す）を対象とした現場溶接を用いない機械式継手工法である。本工法は、上側の軸鋼管に対し継手部品（上キー）を、下側の軸鋼管に対し継手部品（下キー）をそれぞれ工場溶接し、現場で上キーと下キーを嵌合接合することで、現場溶接作業を伴うことなく補強材を接合することができる。

【技術開発の趣旨】

従来、補強材の接合は主に現場溶接により行われるが、溶接部の品質は溶接作業者の技量や溶接作業環境によって左右されるため、安定した品質を得られないおそれがある。また、溶接部の品質確認試験も困難な場合がある。本継手は、軸鋼管と継手部品を工場で溶接するため、継手部の安定した品質が得られること、および、現場作業の軽減を図ることを意図して開発したものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「絆ジョイント工法 製造・設計・施工指針」に従って製造、設計、施工された絆ジョイントを有する補強材は、施工時の圧入力や回転トルクに対して必要な耐力を有し、長期および短期荷重時の圧縮耐力として、接合される軸鋼管の長期および短期許容圧縮耐力を採用できる。

○適用範囲

絆ジョイントを有する補強材の適用範囲は、以下のとおりとする。

- (1) 下記の①～③の条件をすべて満足する建築物
①地上3階以下、②建築物の高さ13m以下、
③延べ面積1,500m²以下（平屋に限り3,000m²以下）
 - (2) 小規模な工作物等
（高さ3.5m以下の擁壁、浄化槽等）
 - (3) アンダーピニング工事に使用できることとする。
- (3) 絆ジョイントを有する補強材の施工は、圧入、回転圧入もしくは回転貫入によることとする。

○継手の形状

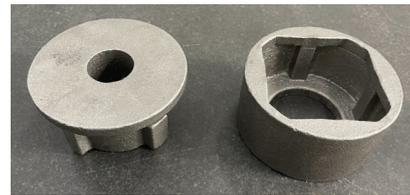


写真-1 継手部品

○接続方法

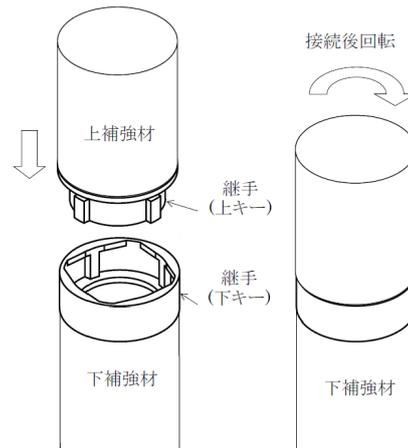


図-1 絆ジョイントの接続方法

【本技術の問合せ先】

誠信 GLOCAL 株式会社 担当者：長谷川 裕一

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-23-18 ニューサカエビル9階

HS 株式会社 担当者：伊藤 純一

〒133-0054 東京都江戸川区上篠崎4-30-9-1階

E-mail：hasegawa@s-glocal.co.jp

TEL：052-957-2622 FAX：052-962-6222

E-mail：ito@mg-hs.jp

TEL：03-5879-8104 FAX：03-5879-8105